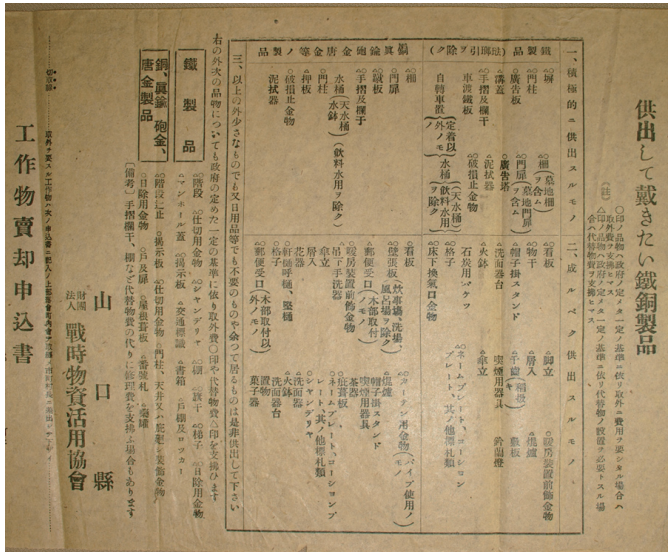
5-3-3　戦時下の人々

金属製品の供出

＊土山家文書575「家庭の鉄と銅を御国のために役立てましょう」



解　説

戦争末期，金属の不足を補うために家庭から金属製品が供出されました。

写真は，山口県並びに財団法人戦時物資活用協会から出された，鉄や銅など家庭の金属製品の供出を呼びかけたチラシです。「家庭の鉄と銅を御国の為に役立てませう」「いざ金属は御国へ！！」「鉄と銅　今ぞ出す時，活す時」などの言葉が並んでいます。

表では，供出する金属製品の具体的な例として，積極的に供出するものと，なるべく供出するものとに分けて書かれています。戦争が進むにつれ，これらの金属製品が日常生活から消えていきました。

供出された金属は公定価格で買い取られ，市町村役場を通じて代金が支払われました。また，取り外しに費用がかかるものや代替物が必要なものについても，別途申し込めば手配を受けることができました。

＊「金属回収物件受領控書」（内田家文書（防府市）413），「金属回収物件受領書」（同414）は各戸から供出された金属の重量の集計表です。

山口県文書館所蔵アーカイブズガイド学校教育編
目次に戻る